

平成 19 年度係長選考合格者研修における 新基本構想骨子案

1 目的

係長選考合格者の研修において、これからの区政を担う中核となる職員自らが新基本構想の骨子案を考えることにより、新基本構想検討への職員の積極的な参加を確保し、全庁をあげて策定に取り組んでいく機運を高めることを目的とした。

2 研修の概要

- (1) 受講生 本年度係長選考合格者（62名）
- (2) 日程 平成20年1月23日から25日
- (3) 内容 概ね10年後の平成30年代初頭の練馬区を想定し、研修生全員で5つの基本目標を設定したうえで、班ごとに「めざすべき将来像」のキャッチフレーズを作成

3 各班が作成した「めざすべき将来像」のキャッチフレーズ

- 1班 『東京グリーンタウン ねりま ～夢・自然・地域愛の集う街～』
- 2班 『共に輝く、オアシス都市 練馬』
- 3班 『ともに築く 緑と笑顔があふれるまち 練馬』
- 4班 『～都市とふるさとが響きあう～ 人・地域・自然の“わ”を結ぶまち』
- 5班 『あふれるみどり・ゆめ・えがお ともに育てよう 大好き練馬』
- 6班 『人とみどりを未来につなぐ ともに創造するまち ねりま』
- 7班 『笑顔、優しさ、みどりあふれるまち、葉っぱい練馬』
- 8班 『愛があるまち NERIMA ～出会いと支えあい織りなす未来へ～』
- 9班 『住みやすさ無限大 支えあい・育ちあい みどりいっぱい いきいきねりま』
- 10班 『人と緑のハーモニー きらめきのまち ねりま』

4 将来像の特徴

将来像として「緑」・「自然」、および「ともに築く」「支えあい」など人・地域のつながりの視点を盛り込んだ班が多く見られ、職員共通の理念となっていることが特徴として浮かび上がった。

1班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

東京グリーンタウン ねりま
 ~夢・自然・地域愛の集う街~

2 将来像をわかりやすく説明した文章

未来を担う子供たちの声は、緑あふれ、共に暮らせる練馬を望んでいます。そこで、本構想は練馬のイメージを「東京グリーンタウン」としました。

【東京のオアシスである練馬区】
 自然が減少し続ける東京の中で、練馬区には貴重な自然が残っています。区民の財産である緑を守り、活かし、育てて、みどりにあふれ、安全・安心に生活できる、環境にやさしい街を築きます。

【地域の愛に育まれた練馬区】
 区民一人ひとりが人間として尊重され、うるおいのある人生が送れるよう、助け合い・支えあい、共に生きて共に育つ、笑顔の街を築きます。

【区民の未来への夢を乗せた練馬区】
 未来に向かって夢を育み、教育・文化伝統の継承し続ける街を築きます。

本構想は、区民で共に生きる、自助・共助・公助の方向性を示したものです。共に暮らす豊かな練馬区を目指します。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

- A** 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす
- 誰もが健康づくり・介護予防を行うための環境が整っています。
- ライフスタイルに応じた、子育てができるまちなっています。
- 高齢者の方を地域愛で支えあいながら、ともに生きる地域環境が整っています。
- ハンディキャップがあっても、地域社会に参加し自立した生活ができるようになっています。
- 医療体制・地域医療が充実し、日常生活に安心の医療が根付いています。
- B** 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす
- C** 子育て、学びを支えあうまちをめざす
- D** みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす
- E** 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

4 現状と課題

- 都市生活で運動不足の人が増えている
- 多様な子育てニーズに対応していく体制が求められている
- 現在や将来の生活に不安を抱えている高齢者が多い
- 障害者の社会参加の場が不足している
- 自分の病気について相談できる場所がない

5 取り組みの方向性（政策）

- 様々な世代に応じた健康メニュー・施設を提供する
- 必要に応じた保育サービスや啓発の実施
- 地域で支える体制を整備する
- 障害者と健常者が共に生きるための場を増加させる
- 医療に関わるネットワークの体制を強化する

2班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

共に輝く、
オアシス都市 練馬

2 将来像をわかりやすく説明した文章

練馬区は、日本の高度経済成長と都市への人口集中の流れの中、近郊農村から、人口70万の都市へと成長をとげました。

一方で、豊かなみどりも徐々に少なくなり、人口の増加とともに都市を支える地域のコミュニティも脆弱化してきているという現状があります。

みどりが周囲にあることは人々の生活に潤いを与え、豊かなコミュニティ作りをしていくために欠かせない要素となります。また、練馬らしさのある産業文化を形成する上で重要であることは言うまでもありません。

そこで、この残されたみどりを愛し、守り育みつつ、練馬区の特性を生かした産業・文化を発展させ地域力を高めていきます。

練馬区は、都市とみどりが共存する「人が共に輝けるオアシス都市」を目指します。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす

地域が笑顔であふれ、誰もが安全な環境で快適に暮らしている状態

C 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす

D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす

E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

4 現状と課題

1. 地域のつながりが薄く、いざという時に、助け合いの体制ができていない。

- ・となり近所のつきあいが減ってきている
- ・町会の加入率が低下している

2. 人や地域によって災害に対する意識や備えに差があり、災害時の訓練も充分ではない。

- ・家庭の備えが不十分でいざという時に心配
- ・地域によって防災組織の差が大きい

3. 日常生活で犯罪に会うのではないかと不安がある。

まちなかに犯罪を誘発する死角などがある。

4. 道が狭く歩道が確保されていない。

子どもが安心して遊べる場所がない。

子どもやお年寄りが安全に歩ける空間が少ない

5. 平和や人権に対する意識が希薄になりがちである。

5 取り組みの方向性（政策）

1. 良好な地域コミュニティ作りを進める。

2. 区民と共に災害に強い体制づくりを進める。

3. 自分たちの住むまちを再点検し、犯罪に強いまちをつくる。

4. 外出時に子どもやお年寄りなどが不安を感じず、自由に移動できるまちをめざす。

5. 平和や人権に対する啓発・教育事業を行う必要がある。

3班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

ともに築く
緑と笑顔があふ
れるまち 練馬

2 将来像をわかりやすく説明した文章

練馬区は、住んでみたいまち、ずっと住み続けたいまち、全国第1位になっています。

区民、企業、区役所がともに手を取り合い、まちづくりを進めています。

区民のための医療機関は充実し、防災・防犯も万全なものとなっています。

子育ての相談窓口など支援事業も好評で、家庭・地域・学校の連携により、教育環境も整っています。

太陽光発電やリサイクルのシステムが確立し、環境にやさしいまちとなりました。緑被率は30パーセントを超え、23区内第1位を独走しています。

区民の地域活動への参加率も高く、練馬ブランドの食品が食卓に並んでいます。

練馬は、自然も人も大切に守り育てていくことで、全てにおいて安心して、穏やかに生活を送れるまちを、ともに築いていきます。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせる
まちをめざす

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせる
まちをめざす

C 地域で子育て、学びを支えあう
まちをめざす

D みどりがあふれ、環境を守る
まちをめざす

E 地域力があり、「練馬らしさ」を
誇れる まちをめざす

- 魅力的な散歩道や観光施設が整備され、PRが十分に行き届いている。
- 地域住民が交流できる機会や場所が十分提供され、交流が活発である。
- 行政の積極的な支援で、魅力的な商店ができ、新規出店もさかんである。
- 行政が練馬ブランド商品の開発を積極的に支援し、全国的にも有名になっている。
- 交通手段が整備され、区内のみで生活ができる。

4 現状と課題

区外の人を呼べる目玉となる施設や場所が少ない。

地域の住民の交流が少ない。

身近な商店街に活気がない。

練馬ブランドの産業や農作物が少ない。

区内を移動するために交通が不便である。

5 取り組みの方向性（政策）

魅力的な散歩道や観光施設を整備し、PRする。

地域の住民が交流できる様、機会や場所を提供し、交流が活発になるようにする。

魅力的な商店づくりや新規出店を積極的に支援する。

現在の練馬ブランドのPRを行うとともに、商品開発を積極的に行う。

バス路線の見直し、道路（自動車、自転車）の整備を行う。

4班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

～都市とふるさとが響きあう～
人・地域・自然の“わ”を結ぶ
まち

2 将来像をわかりやすく説明した文章

1. キャッチフレーズの由来

練馬区は、東京 23 区の中の 1 つの区として日本の中心に位置しながら、地方都市が持つ、みどりや農地をあわせ持ち、人と自然が共存する地域として、さまざまな輪・和・笑・環・話が響きあっている。そして、区民一人一人を尊重し、地域の力を引き出し、みどりあふれるふるさとを大切にするという思いをみんなが考えている。

2. 将来像のイメージ

高層ビルが建ち並び、高速道路や地下鉄ができ、移動が速くなった。また、高層ビルの隣には練馬大根やキャベツなどを生産する農地が存在し、ふるさとを思わせるにおいがする。

鉄道の駅を中心とした都市型の地域、一步奥に入ると農地のある地域、そこには人情あふれる人々がお互い協力し合い安心して生活している。

また、石神井公園等歴史と自然が残る憩いの場所として、子どもからお年寄までが集いにぎわっている。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす

C 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす

D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす

一人ひとりが環境を考え、人と自然が共存している状態。

一人ひとりが環境問題について関心を持ち、区と区民が一体となって練馬の環境を守る努力をしている。また、みどりや農地をふやすため緑化運動が行われている。

E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

4 現状と課題

ごみ量は減っているが排出量（ごみと資源）は増えている状態

Co2 排出量が増加していて温暖化が進んでいる状態

緑比率が地域によって異なり、農地が減少している状態

1人あたりの公園面積が23区内で17番目の状態

より広い世代への環境問題の啓発が不足している状態

5 取り組みの方向性（政策）

ごみの発生抑制や3R推進

練馬区の環境 DAY の設定

みどりを増やすまちづくり

空間を利用した公園づくり

環境意識をより高める啓発活動を行う

5班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

4 現状と課題

5 取り組みの方向性（政策）

あふれるみどり・ゆめ・えがお
ともに育てよう
大好き練馬

A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす

C 子育て、学びを支えあうまちをめざす

- ・全ての子どもが自然の中でのびのび暮らしています
- ・全ての人々が楽しく学んでいます
- ・全ての人々が安全・安心に過ごしています
- ・全ての子どもを中心に、地域の人々が交流しています

D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす

E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

2 将来像をわかりやすく説明した文章

農業が栄え、区民が農を身近に体験することができます。
自然が残され、子どもたちが自然の中でのびのび遊んでいます。
空気がきれいで星が美しい練馬区です。

子どもからお年寄りまで、だれもが夢をもってチャレンジでき、生きがいを持っています。安らいで暮らし、居場所や活躍の場があります。

商店街がにぎわい、子どもがまちにあふれ、皆が生き生きとしています。

地域の人々が豊かな心を持ち見守りあい、学びあっています。

区民と区が一緒につくり上げます。

愛着を持ち、住み続けたいまちです。

隣近所の関わりが希薄で
お互いに孤立している

働く環境が整わず
生み育てることに
不安がある

子どもを育てている人が
気軽に相談できる場所が
少なくなっている

地域の中で
学び、育ち合う拠点が少ない

子どもや若者が
希望を持つことがむずかし
い状態になっている

笑顔と会話のある
家庭、地域づくり

子どもを育てながら
生き生きと働ける
暮らしづくり

子ども親もみんなに見守られ
のびのび育つ
まちづくり

人を育て、心を育て、
生きる力を育む拠点づくり

夢を持ってチャレンジ
できる人づくり

6班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

人とみどりを未来につなぐ ともに創造するまち ねりま

2 将来像をわかりやすく説明した文章

練馬区は、緑豊かな住宅都市として発展してきました。しかし、最近では農地の減少、また少子高齢化、核家族化が進み、地域との交流が希薄になっています。

このような流れの中で、区の財産である人や文化や地域を育み、緑や環境を守り、未来へと継承し、人々が互いに作り上げていくまちを目指すため、「人とみどりを未来につなぐ ともに創造するまち ねりま」を将来像としました。

「人」とはだれもが健やかに笑顔で安心して暮らせるまち。

「みどり」とは練馬の緑や文化、環境を一人ひとりが守っていくまち。

「未来」とは人々が互いに支えあい、区民や地域団体と区がともに未来を創造するまち。

「練馬」を愛し続け、住み続けていただけるような練馬区をつくっていきます。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

A 健やかに笑顔で暮らせる
支えあうまちをめざす

だれもがいきいきと心身ともに健康に暮らせ、地域で支えられ、安心して暮らしている状態。

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせる
まちをめざす

C 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす

D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす

E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れる
まちをめざす

4 現状と課題

高齢者のいる世帯が増加し、介護不足や孤立している状態になっている。

地域のなかで、障害に対する理解が進んでいない状態になっている。

一人ひとりにあった子育て支援ができていない。

地域の医療体制が不十分である。

自分にあった健康づくりが実践できていない状態である。

5 取り組みの方向性（政策）

高齢者がいきいき生活できる地域づくり（地域には区民、事業者、行政が入る）

障害のある方と地域の人々がともに支えあうまちづくりをする。

誰もが健やかに子育てができる環境づくりをする。

だれもが必要なときに必要な医療が受けられる体制をつくる。

健康を大切に思う心を育て、健康づくりを実践するための体制をつくる。

7班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

笑顔、優しさ、みどり
あふれる まち、
葉っぱい練馬

2 将来像をわかりやすく説明した文章

笑顔

区民が健康で安心して、いきいきと暮らせるまちになると、子供からお年寄りまでみんな笑顔があふれます。

優しさ

区民がお互いに支え合い、共に生きていく暖かいまちには、優しさがあふれます。

みどり

人と自然が調和した、うるおいのあるまちには、みどりがあふれます。

葉っぱい

区民が幸せであるように願いをこめています。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

- A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす
- B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす
- C 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす
- D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす
公園などみどりを楽しむ場所が多く、活力と魅力ある都市農業が営まれ、区民にみどりや自然を愛する心がはぐくまれています。また、区民が、日々環境に優しい暮らしをしています。
- E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

4 現状と課題

- 開発等により、民有地のみどりが減少している状態
- みどりを増やす取り組みが進んでいない状態
- 自動車利用により、大気汚染が改善されていない状態
- 農地が減少している状態
- 自然エネルギーの利用が進んでいない

5 取り組みの方向性（政策）

- 民有地のみどりを守るためのルールづくり
(練馬区みどりの財産伝承事業)
- みどりを増やすための仕組みづくり
(戸建て住宅新築記念樹木配布事業)
- 自動車利用の転換を図るための仕組みづくり
(自転車利用促進事業)
- 農地を保全するための仕組みづくり
- 地域資源を有効活用する仕組みづくり

8班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

愛があるまち
NERIMA
～出会いと支えあい
が織りなす未来へ～

2 将来像をわかりやすく説明した文章

昭和50年代には55万人だった人口は、現在70万人へと増え、今後も増加傾向にあります。人口増加に伴い、自然が失われ、IT化などの社会情勢の変化に伴い、人との触れあいなくとも生活できるようになり、孤立化が進んでいます。そして地域の助け合い、支えあいが減少しています。以前は、隣のおじちゃん、おばちゃん達が居て、地域を見守ってくれました。または、問題や、相談ごとなど親身になって助けてくれていました。それが少なくなって若い世代の孤立化が進んでいます。さらには、少子高齢化が進み、将来の地域を担うべき人材の減少は、将来への不安です。新たな地域の支えあいを構築することが必要です。そこで、目指すべき将来像として「愛があるまちNERIMA～出会いと支えあい」が織りなす未来へ～」を掲げます。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

- A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす
- B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす
- C 子育て、学びを支えあうまちをめざす
子どもを産み、育てることに希望と喜びを感じています。
地域全体で支えあいながら、子どもを育てます。
学校と家庭、地域住民が連携して、学びの場を創ります。
- D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす
- E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

4 現状と課題

- 仕事と子育ての両立に対する不安がある
- 多様なライフスタイルにあった保育サービスや子育てサポートシステムが不足している
- 学校と家庭の教育力が低下している
- 子どもが安心して過ごせる場所が少ない
- 子どもも保護者も地域から孤立している

5 取り組みの方向性（政策）

- 働くことと子育てのバランスをとるための支援
- 保育・子育てサポートシステムの充実
- 学校と家庭の信頼関係の強化
- 放課後の子どもの居場所の確保
- 地域に根ざした交流の推進

9班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

住みやすさ無限大
 支えあい・育ちあい
 みどりいっぱい
 いきいきねりま

2 将来像をわかりやすく説明した文章

23 区の中でも自然が多く残り、都心からも近い練馬区は、新しい世代が移り住み、人口 70 万の区になっています。一方、高齢化が進み地域の人間関係の希薄さも浮き彫りになり、地域格差も生まれています。

孤立・不安を抱え、福祉医療の充実、安全安心、環境との共生、子育ての充実は多くの区民が望んでいます。

こうした中、練馬区は地域特性を生かし「住みやすい」を実感できる区を、目指します。

- ・ 安心して子育て、永住できるまちをつくりまします。
- ・ 区民と共に考え行動し、地域を活性化します。
- ・ 安全、安心、災害に強い明るいまちをつくりまします。
- ・ 環境に配慮した緑豊かなまちをつくりまします。

これらの事項を実現するためには、区民が顔を合わせ手をつなぎ地域力を高めていくことが大切です。

区民自身が練馬の良さを感じ「練馬らしさ」を誇れる区をつくりまします。

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

- A** 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす
 - B** 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす
 - C** 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす
 - D** みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす
 - E** 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす
- いつまでも住み続けたいと思うまちをめざす
- ・ 交通網が整備され、誰もが出かけやすい状態
 - ・ 商店街に活気がある状態
 - ・ 区民が自主的に地域を支え、区職員と共につくっている状態
 - ・ 緑豊かなまちづくりができている状態

4 現状と課題

- 地域のつながりが持ちにくくなっている。
 - ・ 自由に使える場が少ない。
 - ・ 新旧の住民の意識に差がある。
 - ・ 世代間の交流が持ちにくい。
 - ・ 人と人とをつなげるきっかけがない。
- 利用しやすい交通環境が整備されていない。
 - ・ 交通の便の良い所、悪い所の格差がある。
 - ・ 歩行者に危険な道が多い。
 - ・ バリアフリーが徹底されていない。
- 練馬の農緑が活かされていない
 - ・ 区内農業が観光、教育資源として活用されていない。
 - ・ 農地が減っている。
 - ・ 緑化への取り組みが十分に浸透していない。
 - ・ 生産者と消費者のつながりが不十分である。
- 練馬の良さが区内外に十分に活かされていない
 - ・ 情報、伝達が不十分である。
 - ・ 特色ある景観が少ない。
 - ・ 住民が練馬のよさに気づいていない。
- 魅力、特色のある商店街が少ない。
 - ・ 訪れたいと思う店が少ない。
 - ・ 空き店舗が目立つ
 - ・ 商店街を核とした魅力あるスポットが少ない。

5 取り組みの方向性（政策）

- 地域の交流の場ときっかけづくり
 - ・ 既存の施設をより使いやすく変えていく。
 - ・ 地域住民によるルール作りを支える。
 - ・ 交流の場を作り、積極的に参加してもらう。
- 便利で安心な交通手段と環境を整える。
 - ・ 地域特性にあった交通網を整備する。
 - ・ 歩行者、自転車、車の通行区分を分ける。
 - ・ 駐輪場を増やしタウンサイクルをより利用しやすくする。
- 地産地消を進め緑化意識を高めていく
 - ・ 農地を継続できるように支援していく。
 - ・ 民有地の緑化を積極的に進める。
 - ・ 「生産物オーナー制度」を進める。
- わかりやすい情報の発信地作り
 - ・ 双方向の情報伝達を導入する。
 - ・ 地域による新たな景観作りを進める。
 - ・ リアルタイムで情報を発信していく。
- 人が集まる商店街作り
 - ・ 会話のできる店作りを支える。
 - ・ 空き店舗の有効利用を進める。
 - ・ 地域全体で魅力あるスポット作りをしていく。

10班 新基本構想案

1 めざすべき将来像

3 「基本目標」と「目標とする状態の説明」

4 現状と課題

5 取り組みの方向性（政策）

**人と緑のハーモニー
きらめきのまち
ねりま**

2 将来像をわかりやすく説明した文章

練馬といえば、みどり そして住民の方々の自治への強い思いにより独立が実現した区です。市民意識も高く、都市でありながらも自然を守りやすらぎあるまちを目指してきました。その歴史を受け継ぎ、新たな歴史をつむいでいくことが大切です。

これからも区民が主役で、人と人がつながり、だれにも優しく強いまち、緑豊かなやすらぎある環境、活気ある産業、郷土を愛する心を育てている未来の練馬を描いていきます。

そのためには、行政も地域も共に支えあい、共に創り、共に生きていくことが求められます。

区民が笑顔で活気にあふれ、にぎわいがあり、夢ある未来のねりま、そして誇りに思えるキラリ輝くねりまを目指します。

A 支えあって、健やかに笑顔で暮らせるまちをめざす

B 人に優しい 誰もが安心して暮らせるまちをめざす

誰もが安心して外出できるよう交通環境が整っています。

災害に強いまちづくりが進み安心して暮らしています。

建物・都市計画などのハード面、消防団活動が活発などのソフト面が充実しています。

C 地域で子育て、学びを支えあうまちをめざす

D みどりがあふれ、環境を守るまちをめざす

E 地域力があり、「練馬らしさ」を誇れるまちをめざす

交通環境が十分に整備されていない状態になっている

人と人との助け合いや地域のつながりが希薄

建物の耐震化や河川の改修が不十分
災害に対する個人と地域の備えが十分でない

高齢者、障害者、子どもに配慮したまちづくりが十分でない

犯罪に対する不安がある

安全で快適な外出ができるまちづくり

地域コミュニティが活発で、地域力があるまちづくり

災害に強いまちづくり

だれにも優しく、安心して活動できるまちづくり

防犯力の高いまちづくり